

ほっと心温まる親子の会話のための

親と子の言葉の栞(しおり)



『ことばの力』育成プロジェクト

保護者向け啓発冊子（3歳児～5歳児保護者用）
「親と子の言葉の栞(しおり)」

平成21年10月

編集・発行 京都府教育委員会

親子の会話が子どもの「ことばの力」を育て、豊かな心と学力をはぐくみます。

親から子どもへ、やさしく、美しく、温かいことばをかけて、親子の会話を豊かにしましょう。

京都府教育委員会

親子の

会話ではぐくむ 豊かな心 確かな学力

おかえり、
素敵なことが
あったみたいね。



タンポポだよ。
もうすぐしたら、
わたげになるね。



そうなの。
たのしかったんだね。
よかったね。



子どもの思いを引き出す大人の一言。会話を深めるコツ。子どもに覚えてほしいことば。親として心がけたいこと。親子の会話を豊かにするためのちょっとしたヒントを小冊子（葉）にしました。

人と人との
絆(きずな)を
つなぐ



知識や考え方を
広げる



**子どもをはぐくむ
ことばのはたらき**



互いの思いを
伝え合う



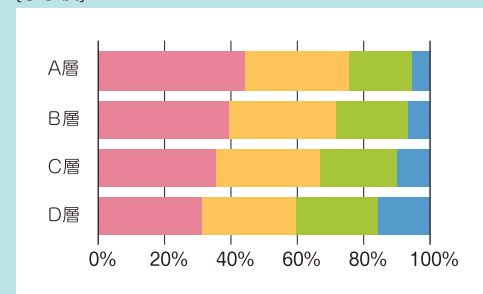
響きやリズムを
いっしょに
楽しむ

家庭でのコミュニケーションと学力

「家の人と学校での出来事について話をしていますか」

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない

[小学校]



※ABCD層：正答率を100%から高い順に25%ずつ区切っています。

正答率の高い児童生徒ほど、
家の人と学校での出来事について、よく話をしているんだわ。
家庭でのコミュニケーションが
大切なのがよくわかるわ。



[平成21年度全国学力・学習状況調査の京都府の結果をもとにまとめたグラフです。]

人と人との絆
(きずな)を

つなぐことば

おはよう

気持ちの良いあいさつが、
一日を楽しいものにします。

いただきます

ことばも動作も、大人が手本を
見せましょう。

ありがとう

感謝の気持ちは、その場で、
すぐに伝えることが大切です。

おかえり

「おかえり」の後は、子どもの
話に耳を傾けましょう。

ここがポイント

目を見て
ゆっくり
さいごまで。



手をふったり、
ほほえんだり、
動作にも
気持ちをこめて。

手を握ったり、抱きしめたり、スキンシップも大切にしましょう。

会話を深めるコツ

時と場に合わせたあいさつを！

おはよう

こんにちは

こんばんは

いってきます

いってらっしゃい

ただいま

おかえりなさい

さようなら

おじゃまします

いらっしやい

はじめまして

いただきます

ごちそうさまでした

おやすみなさい

またあした



大人のあいさつを子どもは真似します。

“一言プラス”で、にっこり笑顔

ただいま。

明日も
がんばろうね。

おかえり
なさい。

あれ？
どうしたの？

今日も
楽しかった
みたいね。

お弁当おいし
かった？

今日は、
何をして
あそんだの？

あいさつの後に一言そえて“一往復半”の会話

互いの思いを

伝え合うことば

よく
言えたね！

自分の気持ちをはっきりことばで伝えられたら、ほめてあげましょう。

それから？
それで？

一言添えて、話をつないであげることで長く話せるようになります。

どうして
ほしいの？

こまったときにしてほしいことを、ことばで伝えられる力を育てましょう。

～のお話が
聞きたいな。

大人からたずねることで、話したいことを引き出してあげましょう。

「ちゃんと聞いてるよ。」
という態度が大切。

ここがポイント



なあに？



先を急がず、
ゆったり
とことばを返す。

子どものことばを最後まで、しっかり聞いて受け止めましょう。

会話を深めるコツ

気持ちのこもったことばで伝える

たのしい

おもしろい

すき

しあわせ

わくわくする

どきどきする

～したい

おしえてください

かなしい

つまらない

きらい

いやです

くやしい

～したくない

どうすればいいの？



うれしかったよ。

その時の気持ちにぴったり合った
ことばや言い方を教えてあげましょう。

聞いてもらえるよろこびをプレゼント

そうか、楽しか
ったんだね。

なるほど、その
とおりだね。

いいこと教えてく
れてありがとう。

すてきね。お母さん
も見てみたいな。

そう、お父さんも
そう思うよ。

そのとき、どう
思った？

はあい。
なんのおはなしかな。

あのね。
きょうね。



「そうなの」と受け止めて、「それで」とうながし、
「わかったよ」と共感。